

第3次袋井市総合計画 基本構想(素案) に関するパブリックコメント実施結果について

令和6年11月から12月にかけて実施しました袋井市総合計画基本構想(素案)に対する意見募集(パブリックコメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。いただいたご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

○実施期間 令和6年11月25日(月)～令和6年12月25日(水)

○意見提出者数 3人8件

基本構想(素案)に対するパブリックコメント結果【1/4】

● 基本構想(素案)に対し、いただいた意見とそれに対する市の考え方をお示します。

- 意見募集期間 : 令和6年11月25日から12月25日まで
- 意見の提出状況 : 3人 8件

該当箇所	ご意見	市の考え方
方向性 ・ 考え方	<p>総合計画審議会 第5回では、「にぎわい ずっと続くまち」を支える考え方の1つである「繋がりによる地域コミュニティの強化」の文脈で、コミュニティセンターを地域のハブに…との話題提起があったかと思えます。</p> <p>袋井市では2018年に公民館(社会教育の拠点)からコミュニティセンター(地域づくりの拠点)に移行しており、コミュニティセンターが地域のハブとなって、地域づくり・街づくり、コミュニティビジネスも含めたコミュニティづくりの拠点に移行しており、その施策が真価を発揮していくことが求められるものと考えます。</p> <p>現実には、市内のコミセンには利用者に他地区の人が混ざるのを嫌がり、職員さんが利用者代表に苦言を呈する事例も未だにあると聞いていますが、“つながり”、“にぎわい”は必ずしも各コミセンの管轄区域や市域でクローズさせるべきものではなく、コミセンを中と外を繋ぐ場や、コミュニティビジネスの拠点としてもより一層活用していく発想を、館長さんや職員さんも共有していなければ実効は上がりません。そしてまた、地域づくりリーダー、コミュニティビジネスリーダー的な人材を育成していく“人づくり”の取組みも重要です。</p>	<p>本市では、市民と行政との協働によるまちづくりを一層進め、地域住民による「地域づくり・まちづくり」を進める体制づくりを目指すため、2018年に公民館からコミュニティセンターへ移行しました。</p> <p>ご指摘の通り、コミュニティセンターが様々なコミュニティをつなぐ「まちづくりの活動拠点」として真価を発揮するためには、コミュニティセンター職員はもとより地域の皆様にその役割を十分に理解していただくことが重要だと考えます。また、コミュニティビジネスなどの手法も含めた地域づくりを担う人材育成にも力を入れることも必要であると認識しています。</p> <p>いただいたご意見を参考に、コミュニティセンターが地域の「にぎわい」を支える場所として機能するよう、検討してまいります。</p>
	<p>総合計画の素案にある、「にぎわい ずっと続くまち」を支えるサブの柱の1つの「挑戦」の中身について、老朽化するインフラ、人口減少、激甚化する災害などの課題への対処といった事項が書かれており、それらはいずれも深刻で大切なことではあるけれども、守りに徹した発想に終始しているとの印象を受けました。他の柱である「魅力」「笑顔」といったところを含めて概観してみても、本来「挑戦」が意味する攻めの“チャレンジ”を思わせる内容には欠けているように見受けられますが、地域が存続し続けるには、従来の路線を守るだけでなく“変革”への「挑戦」も欠かせないものと考えます。</p> <p>現在、市が近隣の他市に例を見ないほど注力して支援策を充実させている民間での創業/スタートアップや、アーバンスポーツ、その他市が推進している新しいプロジェクト(同笠海岸の「海のにぎわい創出プロジェクト」、新幹線南の「袋井セントラルパーク構想」、袋井市子ども交流館「あそびの杜」構想)などへの言及が素案資料にも委員の方々の提言にもありませんでしたが、「挑戦」にはそういった前向きな攻めの“チャレンジ”を織込み、そうした前向きな取組み姿勢とその成果も通して“新たな「魅力」(価値)を地域に生み出す”と共に、「笑顔」があふれる「にぎわい」が続くまちを実現していきたいものと考えます。</p>	<p>ご指摘の通り、地域が存続し続けるためには、まちを持続させるための守りの施策だけでなく、新しい試みや変革への「挑戦」が不可欠です。</p> <p>現在、市が注力している産業イノベーションやアーバンスポーツ施設整備にも繋がる「海のにぎわい創出プロジェクト」や「袋井セントラルパーク構想」、子育て世帯などの特に若い世代が集う拠点となる「あそびの杜」など、前向きなプロジェクトを進めておりますことから、これらの「挑戦」の姿勢を、より具体的に反映できるよう努めます。</p> <p>引き続き、新たな取組みを通じて、地域に「魅力」を生み出し、「笑顔」があふれる「にぎわい」が続くまちの実現を目指し、さらなる発展を追求してまいります。</p>

基本構想(素案)に対するパブリックコメント結果【2/4】

● 基本構想(素案)に対し、いただいた意見とそれに対する市の考え方をお示します。

- 意見募集期間 : 令和6年11月25日から12月25日まで
- 意見の提出状況 : 3人 8件

該当箇所	ご意見	市の考え方
まちの将来像	<p>東名袋井インターと新東名森町インターの間に道の駅の建設を検討できませんか。 観光センターも老朽化しているため、防災拠点の一つとしても役に立つと思います。温泉施設や公園なども併設されるとイベント開催しやすくなるのではないのでしょうか。宜しくお願いします。</p> <p>総合計画審議会 第5回では、総合計画のコンセプトのイラスト(鹿児島市の総合計画の事例のような街の俯瞰図のようなイラスト)を制作する予定の是非についても賛否の意見が交わされましたが、篠田久美委員が提言していたマインクラフトのコンテストにして子どもたちから募るというアイデアは良案と感じました。 実際のところ、マインクラフトを教育的に活用しようとして先行的に活動してきた有識者の市民活動者によると、指導者のリソースや保護者のリテラシーの不足などを背景に、なかなか教育的な形での普及・浸透は簡単ではないとのこと活動半ばで見切りをつけざるを得なかったということ简单ではないものとも受け止められますが、マインクラフトに限らず、一般的な形で描画するイラストやその他ミクストメディア的な表現形態も含めて間口を広げた形で市民・学生・子どもたちからコンテストとして募集することにして、同時に広く市民・若者・子どもたちに自分たちの街の将来を考えることについて意識を高めてもらうきっかけとして活用できればよろしいかと考えます。</p>	<p>ご提案いただいた道の駅をはじめ、まちに「にぎわい」をもたらすための拠点整備は、次期総合計画基本構想の「まちの将来像」を実現する上でも、非常に有効な手段の一つであると考えております。 森町袋井インター通り線の整備については、交通の利便性に伴う地域産業・観光振興の活性化の期待されることから、引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら、より良いまちづくりに向けた検討を行ってまいります。</p> <p>総合計画のコンセプトを市民の皆さんと楽しく、わかりやすく共有していくために、マインクラフトを活用するアイデアは、子どもたちの創造力を育むことにも寄与する素晴らしい可能性があると感じています。 ご提案のマインクラフトに限らず、イラストやロゴなどを市民・学生・子どもたちから広く募集することは、これからのまちづくりを担う世代が、自分たちの街の将来を考える良いきっかけになると考えます。 いただいたご意見を参考に、計画策定とは別に、より多くの市民や若者が将来のまちづくりに対して興味を持ち、積極的に参加する契機となるような企画やプロモーションを検討してまいります。</p>
その他	<p>総合計画審議会は市民も事前申込みすれば傍聴ができるものの、第5回で私が知人を誘い合わせて傍聴したのが、一連の審議会でも最初のケースとのことでした。 第2回～第4回は委員の方々のテーブルトーク方式のワークショップ形式ということで、傍聴に適するものではなかったため致し方ないところもあるかとは思いますが、総合計画は2026年から向こう10年の市のあり方のランドデザインを描くものであるため、本来、広く市民に関心を寄せてもらいたいところではないかと思えます。</p>	<p>総合計画審議会に関心を寄せていただき、また、審議会の傍聴いただき感謝いたします。 いただいたご意見の通り、現在審議を進めている第3次袋井市総合計画は、2026年からの10年間の方向性を示す市の最上位計画であり、広く市民の皆様に関心を寄せていただき、皆様とともに計画を作っていくことが重要だと考えます。 今後も積極的に情報発信を行い、市民の皆様に関心を寄せていただけるよう努めます。</p>

基本構想(素案)に対するパブリックコメント結果【3/4】

● 基本構想(素案)に対し、いただいた意見とそれに対する市の考え方をお示します。

- 意見募集期間 : 令和6年11月25日から12月25日まで
- 意見の提出状況 : 3人 8件

該当箇所	ご意見	市の考え方
	<p>総合計画審議会 第5回を傍聴しました。第3次総合計画の素案を基に審議を行う回でしたが、20名の委員の方々は事前に素案の資料を渡されていたわけではなく、審議会の当日の場で初見で、その場でのごとく見で意見を求められた形だったと伺いました。たいそうな資料でしたので、市の担当課の方々の準備は大変だったかと思いますが、委員の方々も審議会のその場で初見で意見を求められても深く本質を突くような指摘は出てきにくい、前に発言した委員の方たちが出した特定の話題に引きずられがちとなった印象で、このような形で果たして審議会がまともに機能するのか、素人目に見ても懸念を感じました。</p> <p>実際、「にぎわい ずっと続くまち」というコンセプトの言葉の是非を巡る水かけ論に終始した印象でした(それ自体は大事なことではあると思いますが)。</p> <p>その場で初見の印象を問う趣旨だというならばそれでも良いのでしょうか、委員の方々それぞれにお役目を委嘱するにあたって期待する各方面の有識者としての専門性を遺憾なく発揮していただくためにも、審議の目的となる重要資料については事前にお渡ししてお目通しいただくのがよろしいのではないかと感じました。</p>	<p>総合計画審議会においては、審議に必要な重要資料を概ね1週間前にメールで委員の皆様へ送付しており、ご希望の方には紙でも送付しています。今後も委員の皆様に分かりやすい情報を提供することが重要だと考えておりますので、いただいたご意見を参考に、充実した審議につながるよう、さらなる改善に努めてまいります。</p>
その他	<p>総合計画審議会 第5回では、委員の方のコメントの中で“袋井らしさは何か?”という問いもあったかと思いますが、創業/スタートアップ支援への注力や、アーバンスポーツの聖地化などは、その答えの1つになるものと考えます。</p> <p>スポーツに関しては、磐田における卓球、掛川におけるスノボの三木つばき選手のようなトップアスリートの花形選手・花形種目を輝かせることで市民の気運が高まって啓発される面もありますし、その一方で、スポーツ施設などの環境整備やスポーツデーのようなイベントを通して裾野を広げるアプローチもあります。</p> <p>こと袋井市においては、公のスポーツ施設だけでも、さわやかアリーナやエコパなどとも充実していて、更に、エコパやお隣磐田市を拠点とするプロスポーツチームも所在するなど比較的恵まれています。新たな施設整備の方向性として、同笠海岸の「海のにぎわい創出プロジェクト」、新幹線南の「袋井セントラルパーク構想」といった構想計画に見られるように、周辺市には例を見ないアーバンスポーツの拠点を打ち立てようとしている点は1つの「袋井らしさ」に成長・定着していく可能性があると考えられます。そういったスポーツ振興としての側面があるのと同時に、袋井市としては「日本一健康文化都市」を掲げているので、サステナブルな地域社会の実現を図るうえで心身の健康増進/ウェルネスとリンクさせられる側面も大いにあるというのが1つの特色として打ち出せる点かと思えます。</p>	<p>「袋井らしさ」についてご提案いただき感謝いたします。創業・スタートアップ支援への注力やアーバンスポーツの聖地化に向けた取組は、確かに袋井市の一つの特色として成長しうるものだと考えます。</p> <p>特に、ご意見をいただいたスポーツ分野に関しては、これまで取り組んできた「日本一健康文化都市」としての健康づくりはもちろん、アーバンスポーツ施設の整備やプロスポーツチームとの交流、スポーツツーリズムなど、様々な形でスポーツを楽しみながら交流の起点としていくことで、若い世代にとっても魅力にあふれ、市民と訪問者双方が楽しめるまちへと繋がること期待することから、さらなる発展を目指して取組を検討いたします。</p>

基本構想(素案)に対するパブリックコメント結果【4/4】

● 基本構想(素案)に対し、いただいた意見とそれに対する市の考え方をお示します。

- 意見募集期間 : 令和6年11月25日から12月25日まで
- 意見の提出状況 : 3人 8件

該当箇所	ご意見	市の考え方
その他	<p>袋井市は長らく中東遠の中軸都市を目指してきましたが、最近では近隣の市に発展面で遅れを取っている現状があります。過去に策定した豊沢愛野地区の基本構想は成功し、静岡理科大学や小笠山総合運動公園で国民体育大会などを開催するまでに至りました。一方で、宇刈村松地区と三川地区の基本構想は進んでおりません。現在、周辺のインフラ整備が進み、この2地区を開発する絶好のチャンスが巡って来ています。そのため、改めて宇刈村松地区と三川地区の土地利用基本構想を策定し、袋井市全体の発展の指針と都市のビジョンを明確にすることが求められると考えます。 (注記:本ご意見は、長文であったため事務局にて要約させていただいております。)</p>	<p>ご提案のような土地利用の方向性につきましては、人口減少社会への適応しつつ、本市が持続的に発展し続けていけるよう、現在、総合計画と並行して改定を進めております都市計画マスタープランの地域別構想などの策定の中で検討してまいりたいと存じます。</p>